認定NPO法人横浜日独協会　第69回理事会議事録

１．日時：2023年6月17日（土）13：00～14：30

２．場所：戸塚区綜合庁舎３階　多目的スペース（大）

３．理事総数　20名

４．出席者：成川会長 向井副会長 南雲副会長 山口常務理事 寺澤常務理事
大堀常務理事 中尾理事 佐藤理事 北井理事 津澤理事 岡本理事（11名）
（議長委任）大瀬副会長　齊藤常務理事　小貫理事（3名）
（欠席）ゼーリヒ理事　ユーデック理事 小島理事　藤田理事　大治理事
西条理事(6名)
（オブザーバー出席）能登監事

５．議事の経過の概要および議決の結果
定款第32条にもとづき、成川会長により招集され、成川会長を議長として開催された。
本理事会の議事録署名は議長の成川会長、向井副会長、南雲副会長とした。

第1号議案

前回理事会以降の活動報告（ハンブルクでの全国独日協会連合会総会、ハンブルク独日協会60周年記念式典、桜の女王選考会等への出席等）及び今後の活動予定等が、成川会長及び向井副会長から報告された。

根岸墓前祭について、現在の主催者である地元及びドイツ大使館より「横浜日独協会も主催者として加わることも視野に入れて検討頂きたい」との要請を受けていることが、大堀常務理事より報告され、成川会長より、「先方の態度はまだ決まっていないようであるが、先方より改めて要請があった場合は、協会のマンパワーも考慮の上、協会も主催者として加わることも視野に入れて検討したい。主催者として加わる場合は、大堀常務理事に加え、もう一名理事をサポートに付けることを検討する」との説明が行われた。

東京の日独協会との共催である「ぶらドイツ・横浜編」について、以前に大堀常務理事が講演した内容の場所を実際に訪問する計画が９月に予定されていること、及び来週その下見を行うことが、大堀常務理事より報告された。

実開催講演会における参加者が少ないことへの対応として、ヤングクラブ、学生参加者の無料化、及び講演者が連れて来られた方は、常識の範囲内の人数であれば無料化することが成川会長より提案され、了承された。

７月は講演会のみで理事会の開催はないこと、８月に「暑気払い理事懇親会」を開催するため日程調整を行うこと、及び成川会長の古くからの知人でドイツレスト

ラン「ツムアインホルン」のオーナーシェフである野田浩資氏に成川会長が当協会での講演を依頼し了解を得ているが、野田氏はドイツ料理の研究家で著作も多いこともあり、せっかくなら例えば料理教室を行うこと等検討してはどうか、更に今般帰国されるドイツ大使館フィーツェ公使の送別会が東京日独協会のアレンジで６月２７日に行われるが、これには能登監事が参加されることが成川会長より報告された。

山口理事より、会報（Der Hafen）の原稿締切りが、発行月の前月５日であるという点が徹底されていない、印刷・発送業者の変更や郵便事情の悪化などもあるので、再度徹底して欲しい、との要請があり、了解された。

第２号議案

２０２３年度の新たな役員体制を踏まえた協会役員業務分掌の見直し案が成川会長より提案され、「プロジェクト運営・①相互理解・文化委員会」担当副会長として南雲副会長を追加する修正を行った上で承認された。

第３号議案

定例のクリスマス会を１２月９日（土）に開催すること、及び当日の余興としての演奏家への謝礼支払いを行うことが南雲副会長より報告された。

第４号議案

神奈川大学との連携推進のため先日の小熊学長講演会で紹介された民俗資料館見学ツアー（７月１２日予定）が向井副会長から報告された。

第５号議案

法人会員トルンプ社オープンファクトリー（８月２３日開催予定。地域の子供たちの工場見学等）への後援支援が、岡本理事より報告された。

第６号議案（報告）

緑区多文化交流フェアへの参画（１０月１日開催予定。協会ブースの出店や大瀬理事の講演会、協会配布物等）が検討中であることが、岡本理事より報告された。

以上により本日の議事を終了して、議長は閉会を宣した。
以上、この議事録が正確であることを証します。

2023 年 6 月 17 日

議　　長　　成川　哲夫
議事録署名人　　向井　稔
議事録署名人　　南雲　淑子